

漆芸美術館だより



高野松山《蝦模様蒔絵手箱》1936年改組第1回帝展推奨（石川県輪島漆芸美術館蔵）

89

展覧会紹介：「うるしの水族館—漆芸品にみる水の生きもの—」

資料紹介：さまざまな制作意図と図案

新館長就任あいさつ

令和元年度寄贈作品紹介、新任職員紹介

おうちでうるしミュージアム ほか

2020年6月1日発行

「うるしの水族館―漆芸品にみる水の生きもの―」

会期 7月11日(土)～9月14日(月)

*会期中無休

水の生き物たちの愛らしい姿や水辺の美しい情景は、漆芸作家たちにさまざまな着想を与えてきました。豊饒な日本海に面し、清らかな河川を有する輪島にはサヨリやタイ、カニ、ハゼ、エビなど多岐にわたる水の生き物が見られ、漆芸作品の意匠に多く取り上げられています。本展覧会では展示室を水族館に見立て、海や川に生息する生物や水辺の情景、または水面の様子などが描かれた漆芸作品を意匠ごとに分類して展示します。変塗や螺鈿、蒔絵、沈金、彩漆など多様な漆芸技法を用いて繊細に表現される幻想的な水の世界に皆さまをご案内します。

今回は展覧会出品作の中から3点をご紹介します。高野松山の「蝦蟆様蒔絵手箱」(表紙)は白漆地に高蒔絵技法によつて2匹のテナガエビと菱草を絶妙な配置で描いています。高野松山は帝室技芸員の白山松哉の教えを受け、精緻で技巧に富み、緊張感溢れる高雅な作品を築き上げました。本作では白山派の伝統を受け継ぎながらも、昭和初期のモダンズムを思わせる洗練された意匠へと仕上げられています。テナガエビは殻の斑点模様まで丁寧に表され、作者の巧みな技術力がうかがえます。

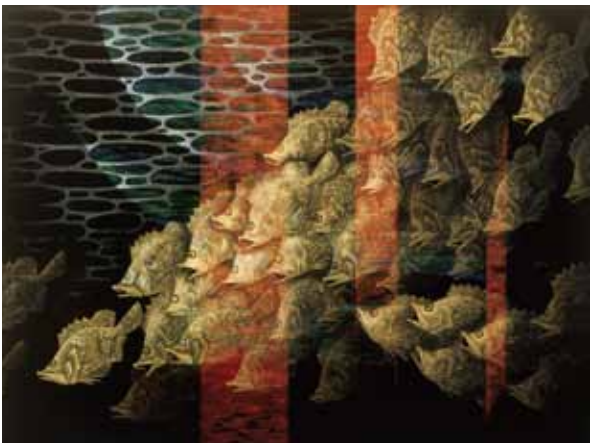
松井義明の「魚映」(図1)は海面に映る波模様や漁火、カサゴの大群をダイナミックに描いていま

す。沈金技法の点彫と線彫によつてカサゴのユーモラスな表情や鋭い背びれなどの特徴的な形態を緻密に表現しています。会場で実際に一匹一匹の表情や描き方の違いを比較してみると新たな発見があるかもしれません。釣りや素潜りを得意とした作者は、本作のほかにも貝や魚など海に関するモチーフの作品群を制作しています。

本展覧会では水辺に生息する生物や池の情景にも焦点を当てています。小柳種園の蒔絵箱「水苑」(図2)は、明るい陽光のもとで生き生きと暮らすレンカクがテーマになっています。レンカクは長い足指と尾羽を持ち、ハスの上を歩くこともできる水辺の鳥で、本作では夜光貝と白蝶貝を用いて端正なシルエツトが表現されています。粗い金粉でオニバスの葉、伏彩色を施した白蝶貝と夜光貝で透明感のある花々をそれぞれ表しています。

水の生きものたちへの視点は作家によつて異なっており、同じ種類の生きものを題材にしても、その表現方法は千差万別です。生命力溢れる生きもの達の姿を、どうぞ会場でお楽しみください。

(山内 亜沙美)



(図1) 松井義明《魚映》
1988年第20回日展
石川県輪島漆芸美術館蔵



(図2) 小柳種園《蒔絵箱「水苑」》
1997年第44回日本伝統工芸展
石川県輪島漆芸美術館蔵

資料紹介…さまざまな制作意図と図案

「うるしのあ・い・うー漆芸技法の百科事典」より 会期…7月6日(月)まで

※会期が延長されました

漆工芸を含めた工芸品の制作に臨んで描かれた図を、ここでは図案と呼び紹介しましょう。陶芸や漆芸、染織など歴史ある工芸産業を各地に有する石川県は、明治から大正にかけて積極的な振興を行い、その一環として図案の提供や指導に着手しました。1887(明治20)年に金沢区工業学校として開設された石川県立工業学校(現在の石川県立工業高等学校)は、広く一般からの図案の調製依頼に応じました。図1は1900(明治33)年に発足した輪島漆器同業組合(現在の輪島漆器商工業協同組合)が同校から提供を受けた図案です。公の機関が意匠の改善を使命として主導したことがうかがわれます。

製品に施される文様としての図案の検討は、産地内でも本格化していきます。1908(明治41)年、蒔絵師の橋本幸四郎(雅号美雪)による図案集『磯の錦』(図2)が輪島で初めて発行されました。さらに輪島蒔絵業組合や沈金組

合、有志団体によって研究会が開催され、図案の作製は蒔絵師や沈金師の技能の一つとして修練されました。

県下の図案の調整は1929(昭和4)年に石川県工業試験場に引き継がれました。第二次世界大戦後に発行された図案では、伝統文様から脱却し、形態はシガーボックスやパウダーケースに至り、輸出を見据えた多彩な広がりを見せました。やがて工芸の世界でも個人の主張を込めた表現が盛んとなり、図案は作家が推敲を重ね、作品に

練り上げる創造の過程を物語る資料として重要視されています(図3)。対象をつぶさに観察し、その特徴や魅力を捉えるスケッチから、モチーフを組み合わせて構成した図面を経て、塗面への転写のために漆で線をなぞる「置目」に使用されたものまで、発想から試行錯誤、実物と対面した際の詳細な調整といった思索をたどることができるのです。

ここで取り上げた図案は7月6日まで展示室3でご覧いただけます。漆芸品とともにじっくりとお楽しみください。(寺尾 藍子)



(上から) (図1) 「漆器図案」石川県立工業学校調製
(図2) 橋本幸四郎『磯の錦』より「春の八」、1908年
(図3) 竹園自耕「果蔬文様蒔絵丸盆」1929年
いずれも石川県輪島漆芸美術館蔵

新館長就任あいさつ

石川県輪島漆芸美術館 館長 小森邦博



新型コロナウイルスの大流行に日本中が震撼させられております。そんな中の4月1日付けで石川県輪島漆芸美術館の館長に就任いたしました小森邦博です。同日石川県立輪島漆芸技術研修所の所長にも就任、平成26年5月より重要無形文化財輪島塗技術保存会の会長を務め、小森邦衛としての作家活動と4足の草鞋を履いております。研修所で後継者育成に携わり、保存会でより高度な技術を習得してもらい、その成果を美術館で発表してもらおう、輪島塗を下支えして行く大切な仕事にかかわっていると思います。

美術館の運営には全くの素人で前館長には11年間に渡り美術館としての基礎を固めていただきましたが、私が館長を引き受けた意味を考えるとその流れを切るのではなく生かしながら漆芸の首都である輪島から発信していきたいと考えます。「温故知新」古いものを確り踏まえ見据えて、今の新しい漆芸を未来に向けて発信し、令和の時代に流れてきている伝統を次の時代に伝えてゆく事が日本で唯一漆芸専門の美術館としての使命と思っております。

当館は令和3年9月に開館30周年を迎えます。30周年にふさわしい企画を全員で取り組み練り上げていきます。又總持寺開創700年にあたり美術館として何かお手伝い出来ないものかと考えております。美術館では増えてきた所蔵作品の収蔵庫を始めエントランス部分の増床工事が行われています。新しいエントランスには輪島塗技術保存会の会員により輪島塗の粹を集め造っている直径1メートルの地球儀を展示する予定で5年計画の4年目です。榛地、髹漆、呂色と進み時絵の下仕事に掛かっており、来年度は沈金に取り掛かる予定で完成のあかつきには当美術館の目玉作品になるものと確信いたしております。

5月からホームページ・SNS上で、自宅にしながらにしてコレクションや漆芸に親しめる「おうちでうるしミュージアム」を公開し、現状況下で叫ばれている「新しい生活様式」への即応として今後も充実を目指しています。一方で展示活動、普及活動においては継続して魅力的な事業を企画し、今般の危機が収束しましたらお出かけ賜りますよう、職員一同お待ちしております。

2019年度寄贈作品紹介

令和元年度は次の12件の寄贈がありました。ご寄贈いただきました皆様に感謝申し上げます。

片切彫沈刻山水之図額／伊藤起鳳

以上、古今俊治氏寄贈

朱漆塗八隅膳・椀

朱漆塗壺椀

朱漆塗平椀

以上、坂研栄氏寄贈

黄漆塗桜鳥沈黒五段重・重台

以上、山崎徹司朗氏寄贈

蓬萊沈金九つ組杯

以上、来田みえ子氏寄贈

漆花器／榎木盛

五節句蒔絵銘々盆／江馬長閑

南蛮文様盆／奥村霞城

彩漆蓑箱／番浦省吾 宮崎平安堂

沈金貰入／三谷吾一

陶漆鉢／インベ陶漆工房

以上、匿名希望個人寄贈

新任職員紹介

4月1日付で、3名の新任職員が就任しましたのでお知らせいたします。

館長 小森邦博

学芸課

学芸課長 細川貴久美

学芸員 福江里美

2020年度石川県輪島漆芸美術館

友の会会員募集

当館では魅力的な特典満載の友の会入会を随時受付けております。

—会員の特典—

- 1 招待券が進呈されます。
- 2 展覧会の入館料が、会員及び同伴者2名まで団体料金となります。
- 3 相互割引提携館主催の展覧会入館料が、団体割引となります。
- 4 「友の会だより」「漆芸美術館だより」ほか美術館情報等の提供が受けられます。

*この他にも会員限定の催し、特典があります。

—会費—

個人会員

1年 1,000円

2年 2,000円

家族会員

年額 2,000円

(代表者と生計を共にする2名以上)

賛助会員

年額 5,000円

(本会発展にご協力いただける個人及び団体)



2020年版 わんじまオリジナルTシャツ デザイン決定!



話題のキャラクターが隠れたおしゃれなデザイン。ミュージアムショップで販売予定です!



石川県輪島漆芸美術館

おうちでうるしミュージアム



おうちでうるしミュージアム



ご自宅や遠隔地で、インターネットを通じて漆の作品や漆芸美術館に親しめる「おうちでうるしミュージアム」がオープンしました！パソコンやスマートフォンでぜひご覧ください。

■ わんじまぬりえ

ダウンロードしてチャレンジ！



■ すごろく「輪島塗ができるまで」

印刷してあそびましょう



■ お役立ちダウンロード



- ・バーチャル背景
- ・メッセージカード



■ スペシャル動画配信

コレクションの解説やクイズなど



来館される皆様へお願い

石川県輪島漆芸美術館では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下記についてお客様にご協力をお願い申し上げます。

- マスクの着用
- 手指の消毒
- 人と人との接触を避け、一定の距離の確保

また、館内では次の対策を講じます。ご理解、ご協力をお願いいたします。

- 職員のマスク着用
- 館内の定期的な消毒
- 消毒用アルコールの設置
- ワークショップ、ガイドツアーの当面休止
- 受付に飛沫防止シールド設置
- 図書閲覧の当面休止